

## 地理B

第1問 (配点16点:  各2点、他3点) 【世界の自然環境と自然災害】問1  ⑥ 【易】

- A 新期造山帯 アラスカ山脈  
 B 古期造山帯 ウラル山脈  
 C 安定陸塊 デカン高原(溶岩台地)  
 ア 地殻変動がほとんど起きない→安定陸塊 玄武岩→レグール  
 イ 標高が低く起伏が小さい山脈→古期造山帯  
 ウ 急峻で起伏が大きい山脈 →新期造山帯

問2  ④ 【良問】降水量の少ない緯度や赤道付近の熱帯低圧帯の位置をみる

- ③④北緯30度、南緯20度付近に降水量が少ない→乾燥帯がある→E  
 Eの北緯30度付近はサハラ砂漠 Fの北緯30度付近は上海  
 ①③赤道付近が降水量が多い=赤道低圧帯が北半球→北半球が夏 7月  
 ②④ // 赤道低圧帯が南半球→南半球が夏 1月

問3  ④ 年較差・最暖月・最寒月の気温をみる

- L・M→内陸で年較差が大きい  
 L→冬低温→①  
 M→中緯度の乾燥帯で夏高温、冬低温→②  
 J・K→沿岸で年較差が小さい  
 J→沖合に寒流(カナリア海流)が流れ、夏低温→③  
 K→低緯度の乾燥帯で夏高温、冬温暖→④

問4  ③ 【易】 水分の蒸発で塩類集積→砂漠土 Rは黒色土壌のチェルノーゼム地帯

- ①褐色の土壌→褐色森林土=C f  
 ②灰白色の土壌→ポドゾル=タイガの広がるD f・D w  
 ④鉄分・アルミ分の赤色の土壌→ラトソル=A f・A w・A m

問5  ① 【易】 Xモニュメントバレー=BW

Yコイリン=C w(ギリギリ 12月30.8mm 5月319mm)

- 差別浸食→硬くて残る  
 コイリン→中国南部→石灰岩の溶食

問6  ⑥

- 熱帯低気圧→中緯度までの沿岸 ハリケーン・台風・サイクロンの地域→サ  
 地震・津波→新期造山帯に広く トルコやイランなどに大地震→シ  
 火山 →新期造山帯 大きな噴火は少ない→ス  
 注をよく読む。最大の円は100件であるが、大規模噴火が100件が  
 各地で起こっていない。

■ 大地形は基本的な問題だった。気候は気温や降水量の基本原則の理解を問うている。しっかりと  
 した考え方ができないと正解にたどり着かない。

第2問 (配点17点:  2点、他3点) 【世界の農業】

問1  ① 農場の国有化はしていない

- ②アジアでの生産増加は「緑の革命」の影響が強い
- ③カナダは北緯49度以北にある。春小麦地域が広がる
- ④フランスはヨーロッパで最大の穀物生産国

問2  ⑤ 【易】

- イ 中国や紅茶のインド・ケニア・スリランカ→茶
- ウ タイ・インドネシア→天然ゴム 覚え方＝タイは東南アジアのデトロイト→タイヤと関連のある天然ゴム
- ア インドネシア・マレーシア→パーム油(アブラヤシ)

問3  ④ 農業人口1人あたり農業生産額＝労働生産性

農地1haあたり農業生産額＝土地生産性

- 新大陸は労働生産性高く、土地生産性低い→①アメリカ
- 途上国は労働生産性・土地生産性ともに低い→③マレーシア
- ヨーロッパは労働生産性・土地生産性ともに高い
- ④オランダ←国土が狭く、園芸農業や酪農が盛んで集約的に農業を行う
- ②イギリス←大規模な混合農業や酪農。牧場が多いので生産性が低い

問4  ⑤ 【基本】 CやDのような離れた地点に着目

カ トウモロコシの大規模栽培＝コーンベルト

肉牛肥育＝フィードロット・コーンベルト

果樹栽培＝地中海式農業 →L

キ 耕作と畜産の組み合わせ＝コーンベルト

綿花＝コットンベルト

稲・サトウキビ＝メキシコ湾岸 →M

ク 酪農＝五大湖沿岸

夏から秋に収穫する小麦＝春小麦(ガーネット種など短期栽培) →K

問5  ③

④日本 農作物の輸出が少なく、輸入が多い

③タイ 農作物の輸出超過 米の最大の輸出国

①ドイツ EUの域内貿易が活発＝国内流通と同じ感覚で流通し、輸出・輸入とも多い。

②中国 国内需要が多く輸出は少ない。トウモロコシの輸入が多い。

問6  ③ 【易】 農地バンクの設立など大規模化をすすめているので誤り

①穀物メジャーは種子開発、農作物の生産・流通など幅広く農業に関わっている

②イギリスのEC加盟によってアジア重視に変化

④教科書通り。EUの共通農業政策の中身を復習しよう

■全問を通して基本問題や基本的な考え方ができるなら、難しい問題はなかった。はオランダの集約的な農業が思いつけば解答可能。はタイなので解けるだろう。

第3問 (配点17点:  2点、他3点) 【都市と村落】

問1  ① 都市についての知識が問われる。地図帳で都市の名前・位置をチェックするクセをつけよう

① エスチュアリー→ハンブルク エスチュアリーは潮汐限界点に都市が立地するので、河口ではなく、内陸に都市ができる

② ラグーン→ベネチア

③ デルタ →カイロ 円弧状三角州

④ 両側が急斜面の入り江=フィヨルド→ベルゲン

問2  ③ 知識問題

③ ウェリントン 1865年オークランドから首都移転 政治都市は人口が少ない  
オークランド149万人・クライストチャーチ37万人・ウェリントン20万人

① マドリード327万人・バルセロナ162万人

② バンコク571万人・サムットプラカン73万人 典型的なプライメートシティ

④ メキシコシティ885万人・エカテペック166万人 プライメートシティ

問3  ⑥

C 大きな環状道路がある→城壁の跡 囲郭都市→ア

B 行き止まりが多く、複雑な街路=迷路型 イスラム圏に多い→イ

A 一見迷路型 しかし、交差点が環状になっている=ラウンドアバウト  
欧米に見られる→ウ

問4  ③ 都市の特徴で判断する

③ 万国博覧会→パリ

① 国際金融拠点・摩天楼→ニューヨーク

② 近年世界都市として発展・都市の繁栄の象徴→シャンハイ

④ 冷戦期・近隣国(ソ連など)の政治的影響→ワルシャワ

問5  ③ 耕作放棄地は増加傾向で誤り

① 過疎化は地域社会の維持が困難となる状況

② 農業生産法人やイオンやローソンなども農業に参入

④ グリーンツーリズム

問6  ① 東京圏・大阪圏の割合から地域を判別。大阪圏は西日本の中心。鉄道や高速道路で地域間のつながりができる。また、地域間の階層構造も考慮する。

①③ 大阪圏が多い→北陸・中国

① 名古屋圏が多い→北陸

③ 中国

②④ 関東圏が中心→東北・甲信越

② やや名古屋圏が多い→甲信越

④ 名古屋圏が少ない →東北

■ 受験生が苦手とするだろう都市の名前や位置の知識問題が出題された。地図帳を使った勉強をしているかで出来不出来が決まったのではないかな。

第4問 (配点17点:  2点、他3点) 【南アメリカの地誌】

問1  ①

ア 砂漠→海岸砂漠→A

イ 草原→高山地域→B

ウ 森林→熱帯地域→アンデス山脈を越えたC

- 問2 20 ③ 【易】 ブラジル高原は楕状地・安定陸塊なので誤り  
 ①熱帯草原リャノ。オリノコ川のデルタ。  
 ②アンデス山脈。新期造山帯で火山もある。  
 ④標高が高く山岳氷河有り。  
 世界自然遺産：ロス・グラシアレス国立公園  
 14,000m<sup>2</sup>に300以上の約60～80mの高さの氷河が存在し、13の氷河がビエドマ湖 (Lago Viedma) とアルヘンティーノ湖 (Lago Argentino) に流れ込んでいる。
- 問3 21 ①  
 ④エスタンシア→アルゼンチン→N  
 ③ジャガイモ・リャマ→アンデス山脈の高地→L ポリビア  
 ②コーヒー・バナナのプランテーション→K コーヒーのコロンビア、バナナのエクアドル ただKにエクアドルは含まず…コロンビアもバナナ栽培あるが少量  
 ①企業的農業 大豆・トウモロコシ→M ブラジルのカンポセラード  
 コーヒーはブラジル高原南部が中心。Mの南。
- 問4 22 ② 【やや難】 Q・Rの位置の判断が難しい  
 カ 天然ゴムの集積地 天然ゴム→セルパ(原産地)→Pマナオス  
 キ イタビラ=カラジャスと並んで重要な鉄鉱山 →Rイパチンガ  
 ク 計画都市・政治機能 →Qブラジリア  
 ブラジリアは1960年、内陸の開発の拠点として建設・首都移転がなされた政治都市。内陸の開発ということでブラジル中央高原に建設された。
- 問5 23 ③ 【やや難】 メルコスールは南米の自由貿易協定 アルゼンチン・ブラジル・ウルグアイ・パラグアイ・ポリビア・ベネズエラ。これらを中心として貿易が活発になっている  
 ②チリやペルーが高い→日本への輸出  
 ④ベネズエラ・コロンビアなどが高い→距離的に近いアメリカ 原油輸出  
 ①どこも大きな差がみられない→ヨーロッパへの輸出
- 問6 24 ③ 【基本】 中南米の黒人はアフリカからの奴隷が起源  
 ①ヨーロッパ系の進出によって、植民地になったので、誤り  
 ②ポルトガルはブラジル。他の多くはスペインなので誤り。  
 ④伝統的な宗教もあるが、カトリックが主流なので誤り。

■南アジアの自然、農業、鉱業、言語・宗教、自由貿易協定といった基本的な事項が問われている。ブラジリアの位置など、この大問でも都市の位置を地図帳でチェックしているかどうかで正解できる。

第5問 (配点16点 27 28 各2点、他3点) 【現代世界の諸問題】

問1 25 ① 【やや難】

デンマーク 高福祉国→公的支出多い・病床数多く医療充実→③

フィリピン 途上国で医療やや貧弱→栄養状態から肥満少ない・公的支出少ない・病床数少ない→④

アメリカ 肥満大国・公的医療制度貧弱→肥満多い・公的支出少ない→②

アラブ首長国 石油資源で豊かで公的部門充実→肥満高久・公的支出多い→①

問2 26 ③ 図1の( )内の人口増加の割合と図2の出生率と死亡率の差をみると簡単

ア ずっと出生率と死亡率の差が最大→( )の数字が396の中部アフリカ

イ 出生率と死亡率の差が2番目に大きい→( )の数字が310の北部アフリカ

ウ 出生率と死亡率の差が近年最少になった→( )の数字が293の南部アフリカ  
エイズなどで死亡率が上がっている

問3 27 28 ②・④ パリの記述が…やや難。しかし正解は明らか。

②シンガポールは英語圏でもあり、世界企業のビジネスのアジア拠点として成長しているので誤り。

④インナーシティー問題はインナーシティーに低所得層がとどまり、都市が衰退する減少。郊外へ中・高所得層が流出するので、誤り。

⑤パリはアメリカなどのインナーシティー問題とは違ったモデルが早くからでている。パリ郊外にマグレブ系若者が集住する移民郊外が生まれ、そこに社会問題が発生している。

森 千香子 (一橋大学・パリ社会科学高等研究院)「空間的周縁と文化的周縁 -フランスの郊外問題と若者文化」

[http://kantohsociologicalsociety.jp/congress/51/points\\_section12.html#report\\_02](http://kantohsociologicalsociety.jp/congress/51/points_section12.html#report_02)

問4 29 ② 【基本】

カ 過放牧の割合が高い →アフリカ 砂漠化の原因のひとつ

キ 森林破壊の割合が高い→南アメリカ 熱帯林破壊

ク 農業の割合が高い →アメリカの農地開発による土壌流出とその対策としての等高線耕作など

問5 30 ④ 二酸化硫黄は大気汚染の原因

① 急激に増加→中国 PM2.5などの大気汚染がひどい

② 排出量が多いが低下傾向→アメリカ 工業国で国土も大きく(広く)排出の絶対量は多い

③ 全体に少ない・近年増加→オーストラリア 人口少なく工業地域が少ない。近年石炭の産出多く、経済好調が原因でやや増加か？

④ 工業国で排出量が多かったが、アメリカほどではなく近年減少→イギリス

■今年医療・人口・都市・環境分野からの出題だった。統計を使った先進国・途上国の特徴を捉えさせる基本的な問題が中心だった。問3のパリの記述は先進国の一般的なパターンとは違うため、戸惑うが、正解が明らかな誤文なため、冷静に対応したい。

第6問 (配点17点: 32 2点、他3点) 【北海道富良野市の地域調査】

- 問1 31 ② 【易】富良野岳まで遮るような地形はみられないので正しい
- ①周辺は畑・牧草地が続く。Q駅周辺のみ市街地がある。
  - ③R駅までではなく、R駅からS駅へ行く時にR駅周辺で見られるので誤り
  - ④水田が広がり、果樹園は見られないので誤り
- 問2 32 ① 太陽電池パネルに積雪があると逆に発電効率が落ちる
- ②信号機の上に積もる雪の量を減らす
  - ③積雪により、道路の端がわからなくなるため、地上に目印を置く
  - ④積雪により、取り付け部が埋まるのを防ぐ。
- 問3 33 ② 【易】新旧地形図比較
- ②河川改修され、河道拡張工事がされている。郵便局は旧河道にないので誤り。  
土堤を鉄道と読み間違えない。定期考査レベルの問い。
  - ①鉄道駅に隣接して市街地が発達し、西側に中心地がある。
  - ③区画整理され、山側にスキー場がある
  - ④湿地がなくなっていることから排水されたことがわかる。
- 問4 34 ② 【易】
- ②西の丘陵地から格子状の区画がある盆地地域にひろく分布しているため誤り。
  - ①米は盆地の南に集中している
  - ③酪農は数が少なく、分布も東の山麓である
  - ④どの分布にも東南部はなにもない
- 問5 35 ③ 【易】
- サ 混交林は針葉樹と落葉広葉樹。気温が高いと常緑樹、低くなると落葉樹が増える
  - シ 表から国内消費量が低下しているのに、国内生産量が増加している。自給率は上昇していることがわかる。
- 問6 36 ③ 【易】グラフをよくみる。2000年度の7～9月は順に40万、30万、15万人。1～3月は順に25万、25万、25万人。2倍以上ではない。
- ①1970年度は冬にピークがある
  - ②1990年度は冬のピークが最大だが、夏にもピークがある
  - ④2010年度は5・6・9・10月が過去と比べ最も観光客が多くなっている

■ 地域調査の問いとしては標準的な問題。落ち着いて問題を解けば満点である。

●出題形式

		07	08	09	10	11	12	13	14	15
	単 答 式	0	1	3	1	0	1			1
	図 中 選 択	0	1	3	0	3				
	地図中選択						1			
	図(除がら)写真選択							3	1	2
	文 選	14	14	13	11	8	12	8	11	16
	文章中の正誤判別	0	0	2	5	0	3	2	1	
	正誤の組合せ						1	1	1	
	組 合 せ	4	6	5	5	8	7	5	6	3
	文中適語補充組合せ									2
	組合せ 統計	14	5	7	7	10	3	5	7	3
	統計地図							2	1	1
	単答式 統計	3	6	1	7	5	5	8	4	7
	統計地図						1			1
	雨温図・組合せ	1	0	0	0	0				
	単答式	0	1	0	0	0				
	ハイサー・組合せ	0	0	0	0	0				
	単答式	0	0	1	0	1	1			
	気候表・組合せ	0	0	0	0	0				
	単答式	0	0	0	0	0				
	写 真 問 題	0	0	2	3	3	4	1	2	3
	地形図の枚数	4	3	2	3	7	2	4	2	3
	読図関連	4	2	3	3	2			1	3
	図表読み取り	0	2	4	5	0			1	3
	計 算	0	0	0	0	0				
	年代並びかえ									1

- 大問6題で変わらず。大問ごとのテーマは昨年と同様。総問題数は昨年と同様、36問であった。昨年に続き1つの問いで2つ答える問題があった。
- 地理Aとの共通問題は第6問地域調査であった。
- 全体的に標準的な問題が多いが、しっかりと考えないと答えにたどり着かない。力のある生徒は得点をとれるが、中途半端な理解で地理的な考え方ができなければ点数はとれないだろう。
- 3年連続、雨温図・ハイサーグラフは出なかった。
- 首位都市を単純に答える知識問題がでた。
- 新旧地形が使われた。

■地理B 平均点の推移

15年	14年	13年	12年	11年	10年									
58.6	69.7	61.9	62.2	66.4	65.11									
09年	08年	07年	06年	05年	04年	03年	02年	01年	00年	99年	98年	97年	96年	95年
64.45	66.36	58.41	65.1	70.2	62.1	55.0	66.3	63.6	58.2	62.3	77.2	67.3	62.8	72.4

**地理A** 第5問は地理B第6問と共通

第1問 (配点24点:  各3点) 【地理の基礎的事項】

問1  ③ 【基本】日本時間で12時間45分飛行すると24:15着。よってAとの時差14時間

問2  ④ 【基本】ヒマラヤ山脈は褶曲山脈。火山は島弧、海嶺、ホットスポット  
ア アリューシャン列島  
イ アイスランドの海嶺  
ウ アフリカ大地溝帯

問3  ④ 【基本】コアラはユーカリの葉を食べる。文章のようなことはない  
① 北極海の海氷が減少

問4  ③ 【基本】サバナ気候

問5  ④ 【基本】カナートやフォガラの上空写真

問6  ① 【基本】ジャズのこと→ニューオーリンズ

問7  ① 【標準】  
ヒンドゥー教→インド  
イスラム教 →北アフリカ・西アジア中心  
②アジア  
①アフリカ  
カトリック →ヨーロッパ・南米  
プロテスタント→ヨーロッパ・アメリカ  
③ヨーロッパ ←北米としたらプロテスタントよりカトリックの方が多くなり  
おかしい  
④北アメリカ

問8  ① 図4の真ん中やや左の低地に注目。

■おおむね基本問題ばかりで、過去問を解いておればできただろう。の問題は問題用紙をくるとまわして解いていこう。

第2問 (配点21点: 各3点) 【国境を超えた様々な結びつき】

問1  ③ 【易】  
ウ ドイツ 共に高い水準  
ア 中国 2012年の割合が高い  
イ インド 2012年の割合が低い

問2  ② 【基本】経済特区は製造業の誘致を想定。金融特区が目的ではない。  
④1985年のプラザ合意から

問3  ③  
① アメリカ 最も早くから普及  
② 日本 10%を超えるのは早かったが、50%になるのに時間がかかる  
③ 韓国 アジア通貨危機以降、急速に普及

- ④ ロシア 経済停滞の影響で普及が遅い
- 問4 12 ② 【やや難】正距方位図法を思い浮かべて解かないといけない
- A 北米やサンパウロ方面 →④ 中間の時間帯にある
- B 中国北部・ヨーロッパ →③ 近距離と中間帯にある
- C 中国南部・東南アジア →② 近距離にかたまっている
- D 太平洋・南米のチリなど南部 →① ほとんど点がない
- 南米までの直行便ない 燃料持たない

- 問5 13 ①
- ク 収支がマイナス →日本
- カ 欧州から旅行者多い →エジプト
- キ 欧州から旅行者少ない→オーストラリア

- 問6 14 ④ 大陸の形が見える
- サ アフリカと南米。北の太いのはヨーロッパと北米を結んでいる
- ス アラビア半島と東アフリカの海岸線が見える
- シ アジアと北米、オーストラリアを結んでいる

- 問7 15 ③ 【易】京都議定書など

■12の問題は正距方位図法を頭に思い浮かべて、どの国がどのマスに入るかを考えないといけない。それを下うえて、直行便がありそうな主要都市の位置を考え、選択肢を選ばなければならない。選択肢も東京の位置がどの角がわからないので、一つ一つ検討しなければならず、かなりの思考力が必要だった。14は海底ケーブルによって大陸が見える点がおもしろい。

第3問 (配点21点：各3点) 【東アジアの地誌】

- 問1 16 ④ 【基本】長江河口は堆積平野
- ① ヒマラヤ山脈
- ② チベット高原
- ③ 四川盆地
- 問2 17 ② ソウルはC w
- ④ 東京 C f a
- ③ 北京 D f
- ① ウランバートル B S
- 問3 18 ③ 中国の農業地域区分図を復習しよう
- C 黄土高原 米の栽培はない

- 問4 19 ⑥
- キ ヤク・仏教 →L チベット
- ク アラビア文字→K ウイグル
- M 人口が多い →M チョワン

- 問5 20 ③ 【易】
- サ 大皿 円形のテーブル→中国
- シ 小皿 金属(銀製)の食器→韓国
- ス 膳 →日本

- 問6 21 ③
- ① 中国 世界に占める割合が最も高い 世界第2位の貿易大国
- ④ 香港 GDPに対する比が100%以上

- ② 日本 ③よりも貿易の割合が高く、GDPに対する比が小さい
- ③ 韓国 貿易依存度(対GDP比)が高い

問7 22 ③

- ① 内陸の油田地帯と結んでいる
- ② 青蔵鉄道
- ③ 北の慢性的水不足解消 水力発電用ではない
- ④ 日本の技術が活用

■東アジアの地誌を断面図や雨温図など基本的事項を問うている。自治区や韓国の貿易依存度、西部大開発など地理Bでも問うてもいいような問題であった。

第4問 (配点16点: 25 26各2点、他3点) 【地球環境問題と国際協力】

問1 23 ① 【基本】人口ミラミッドはイ→ア→ウへ変化する

- ② イが最も乳児死亡率が高い
- ③ アからイへは変化しない
- ④ イからウへいきに変化しない。ウは一部の先進国

問2 24 ① 【基本】

- カ 栄養不足人口率 先進国が低く、アフリカが高い
- キ 穀物自給率 穀物生産の多い国が高く、アフリカが低い
- ク 人口増加率 アフリカが高く、先進国が移民の多い国を除いて低い

問3 25 26 ①・④ 【基本】

- ① 排他的経済水域の設定によって遠洋漁業の漁獲量は減少しているので誤り
- ④ フェアトレードは適正価格で取引し途上国の生産者の利益を守るものである。まだまだ普及していないので誤り。
- ② 高い輸入関税を課し、農業を保護している
- ③ 玉蜀黍を飼料としているため、穀物の食糧問題にも関わる
- ⑤ マングローブ林を伐採して養殖池を造成している
- ⑥ 食糧自給率が約40%(カロリーベース)である。

問4 27 ① 【基本】合計特殊出生率が最も高い

- ② サウジアラビア 女性の地位が低い←イスラム圏
- ③ スウェーデン 女性の社会進出が進んでいる
- ④ 日本 合計特殊出生率が低い

問5 28 ③ ODAの個別の事象については学習していない。事象の内容というよりはそれ以外のところに注目しないと解けない

- ③難民の受け入れはほとんど行っていない。職業訓練なども積極的でない

■ODAの問題は以前も地理Bで出題があった。事業を行っているかということはなかなか判断できない。今回は事業内容ではなく、難民問題の正誤問題という形をとっていた。今後、ODA関連の問題はこのような形が望ましい。それ以外は基本問題といえるだろう。

第5問 (配点18点: 各3点) 【北海道富良野市の地域調査】 (地理B第6問と共通問題)

●出題形式

		07	08	09	10	11	12	13	14
	単 答 式	4	4	6	3	3	1		
	図 中 選 択	1	4	1	2	3			
	地図中選択						3	1	1
	図(除がら)写真選択						1	2	1
	文 選	8	11	12	8	9	9	10	13
	文章中の正誤判別	0	0	2	5	1	4	2	
	正誤の組合せ						1		1
	組 合 せ	5	6	5	6	6	6	7	7
	組合せ 統 計	9	4	6	5	7	4	6	5
	統計地図						1		
	単答式 統 計	6	2	2	5	5	5	3	3
	統計地図								
	雨温図・組合せ	1	0	0	0	0		1	
	単答式	1	0	0	1	1			
	ハイサー・組合せ	0	0	0	0	0			
	単答式	0	0	0	0	0			
	気候表・組合せ	0	0	0	0	0			
	単答式	0	0	0	0	0			
	写 真 問 題	2	3	3	10	3	5	5	5
	地形図の枚数	3	4	2	3	7	4	5	2
	読図関連	3	3	3	3	2	1		1
	図表読み取り	1	3	3	4	2	1	1	1
	計 算	1	2	1	1	1			1
	年代並びかえ								

- 出題のテーマは昨年とほぼ変わっていない。問題数は昨年より3問増加している。1つの問いで2つ答える問題が3つあり、小問数が増加した。
- 尾根・谷のような地理の基本事項をうまく問うている。
- 写真を使った問題が地理Aらしく、よい。今年は文選が多く、じっくり読んで判断すると正解できる。
- 地理Bでもいいような問題もあり、良問も多く、地理B選択者も地理Aの問題に目を通すのがよい。

■地理A 平均点の推移

15年	14年	13年	12年												
51.4	51.8	50.1	47.4												
11年	10年	09年	08年	07年	06年	05年	04年	03年	02年	01年	00年	99年	98年	97年	
52.6	53.58	54.70	56.83	53.91	62.7	65.7	60.0	48.1	56.5	60.1	46.2	51.1	59.7	57.0	